

いずみ izumi vol.83

令和8年
夏号



ごあいさつ

4月より障害者支援施設の園長に着任いたしました、野口光と申します。日頃より福祉施設いずみえんの運営にご理解・ご協力賜り、誠にありがとうございます。

私はこれまで20年以上、高齢者福祉の現場で多くのご利用者の笑顔と人生に触れてきました。これからはその経験を最大限に活かし、入居・通所すべてのご利用者へ、さらに質の高いサービスをお届けする所存でございます。

今年度の当施設の方針をいたしまして、私たちが挑戦するのは次の2つです。①先進的なケア:ICT化により業務をスマートにし、職員がご利用者と向き合う「温かい時間」を増やします。②未来に向けた計画:障害者支援施設入居者の高齢化に対応するため、高齢者福祉のノウハウを存分に活かし、職員の教育体制を強化します。

当施設は、高齢・障害の垣根を越えて連携できる境です。お互いの強みを掛け合わせ、地域で一番魅力的で、笑顔あふれる複合施設を創りあげてまいります。

新しい挑戦に突き進む「いずみえん」を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

支援事業部 園長 野口光



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



新入社員紹介

～みなさんに意気込みを聞いてみました～



岡本さん

介護事業部第1課

ご利用者それぞれが大切に
してこられた暮らしや人生
に思いを寄せ、その人らし
く安心して過ごしていただ
ける関わりを大切にしてい
ります。これまでの社会
人経験を活かし、感謝と学
ぶ姿勢を忘れず信頼され
る職員を目指します。



細根さん

介護事業部第3課

介護は未経験ですが、誰か
の力になりたいという強い
思いがあります。ご利用者
一人ひとりに寄り添い、安
心と笑顔を届けられる介護
士を目指して、知識や技術
を素直に吸収しながら成長
していきたいと考えていま
す。



風間さん

支援事業部第1課

学生の頃から障がい支援に
携わりたいと考えており、
入社いたしました。今後は
ご利用者の障がい特性へ
の理解を深め、信頼関係を
築けるよう、まずは一つひ
とつ基本的な業務を確実に
習得できるよう精進してい
ります。



南波さん

支援事業部第2課

「目の前の人は誰かの大切
な人」という思い言葉を念
頭に置きながら、ご利用者
への寄り添いと職員同士の
連携を意識して業務に取り
組めます。毎日少しずつ経
験を積み、学んだことを自
分の力にして成長してい
きたいです。



西田さん

介護事業部第2課

介護の知識も経験もない
状態で入社し不安もありま
したが、先輩職員の丁寧な
指導のおかげで安心して働
けています。日々学ぶ姿勢
を大切にしながら、ご利用
者一人ひとりに寄り添える
介護職員を目指して努力し
ていきます。



山邊さん

支援事業部第1課

業務の多様さに上達できて
いない部分もあるが、OJT
や先輩の支えで少しずつ習
得しています。研修を通し
て考え方や対応を学び、多
くの経験を積んでいます。
ご利用者・ご家族・職員に
信頼されるよう努めていま
す。



柿倉さん

支援事業部第1課

介護や支援の知識が乏しく
不安もありますが、職員の
支えでできる業務が少しず
つ増えてきました。理想と
の違いはあるものの、多く
のご利用者に囲まれて働く
日々は楽しく、今後も学び
成長していきます。

今年は7名の新入社員が入社しました！
これから楽しいことも大変なこともあると
思いますが、ともに成長していきましょう！

支援事業部運動会



5月最後の木曜日、第7回支援事業部運動会を開催いたしました。本番
当日まで天気が危ぶまれましたが、最後まで無事に開催することができま
した。

日に日に暑さも厳しさを増す中、みんなで声をかけ合いながら一生懸命
練習を重ねてきました。応援合戦に始まり、徒競走、障害物競走、パラバレー
ン、大玉転がし、紅白リレー…特に応援合戦は日々の活動の中でも練習に
取り組んできた成果を発揮できた
と思います。



支援事業部第2課 菊地備子

気になる結果は…なんと 280 対 280 の同点という結果になりました！結果
に驚きながらも、お互いの健闘を称え喜び合いました。ご家族のみなさまの声援
も力に、勝敗を超えて、今年もみんなでゴールに向かって励まし協力し合う絶好
の機会となりました。



昨年度に続き、今年度も5月31日にいずみえん園庭にて移動動物園を開
催しました。開催前から「どんな動物が来るのかな?」「楽しみ。大きな動物
は来るのかな?」との声が聞かれ、ご利用者は当日を心待ちにされていました。

移動動物園が到着するとウサギやモルモット、ヒツジやヤギなどが登場。
ご利用者、ご家族、近隣の園
児と多くの方が動物たちと触
れ合い、楽しい時間を過ごしていただきました。ご利用者からは「昔、家
で飼っていたから懐かしい」「可愛かった。また来てほしい」との感想が
聞かれ、園庭はご利用者の笑顔で溢れており、私たち職員もたくさんの元
気をいただきました。



医務課 星愛菜

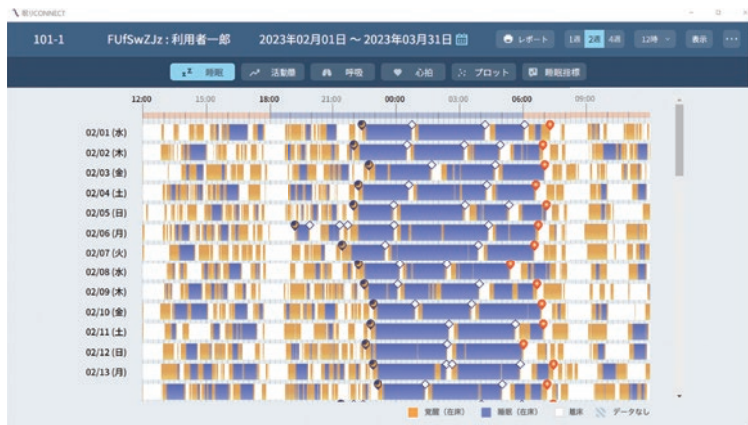
見守り支援機器導入

特別養護老人ホームいずみえんでは、ご利用者が安心して生活できる環境づくりを目的として、ICT 機器の導入を進めています。現在、「眠り SCAN（眠りスキャン）」「眠り CONNECT（眠りコネクト）」「見守りカメラ」を活用し、睡眠状態や離床状況をリアルタイムで確認できる体制を整えています。

これらの機器を活用することで、夜間帯の様子や生活リズムをデータとして確認できるようになり、ご利用者一人ひとりの状態に合わせたケアの検討に役立てています。また、職員間で情報を共有しやすくなり、状態変化への気づきやケア内容の振り返りにも活用されています。

ICT 機器は職員に代わって介護を行うものではありませんが、日々のケアを支える大切なツールです。今後も ICT 機器と職員の専門性を組み合わせながら、ご利用者により良い生活環境を提供できるよう取り組んでまいります。

介護事業部第2課 課長 中島陽一郎



いずみ VOL.83

発行 社会福祉法人 徳心会
福祉施設 いずみえん 広報委員会
〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目1番5号
TEL. 03-3759-5550 FAX. 03-3759-5634

発行人 統轄園長 鴨田弘樹
編集人 広報委員長 眞弓勉
発行日 令和8年7月15日
E-mail izumien@tokushinkai.jp
H P <https://tokushinkai.jp/>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクははずしております。

風天



徳心会のコンセプトムービーが
YouTube で
公開されております！
ぜひご覧ください。

